

請求書にかかるコストを大幅削減！

法人“ビリングONE”

導入事例

 **NTTファイナンス**



事例①：東武ビルマネジメント株式会社様

ビル管理用の約800回線の請求一本化と遊休回線の見える化を実現！



東武ビルマネジメント 株式会社様

本社：東京都墨田区押上2-12-7
セトル中之郷1F
設立：1969年
従業員数：3,630名(正社員・パート合計)
※2021年4月1日現在
<https://www.tobu-bm.co.jp/>

東武グループの総合ビルマネジメント企業であり、ビルの設備管理・清掃・警備をトータルで担う他、駅ビルや商業施設の企画開発を手掛けています。実績として東京スカイツリータウンの対応を24時間365日総合管理しています。



導入前の課題：ビル管理における約800回線の請求書対応が大きな負担

- 1ヶ月に約800回線の請求があり、月に5回ほど銀行に足を運んで振込対応をしていた
- 自動口座振替では、通帳や取引データに回線番号と合計金額が膨大に記録され、後処理がかかり、かえって負担が大きくなる
- 遊休回線の見落としが起こっており、数年間基本料金を払い続けてしまっていたことも

法人“ビリングONE”採用の3つのポイント

1. 紙の請求書の電子化により、リモートワークや他業務への時間活用等“新しい働き方”が実現できる
2. 出カデータを会計システムへインポートすることで、投入作業の手間が解消できる
3. 導入までの手続きはNTTファイナンスが一括代行するため手間を解消できる

導入後の効果：手間のかかる請求書対応を減らして空き時間を有効活用できるように

- **銀行での振り込みの手間が不要に**
通信費を支払うために銀行に行く必要がなくなり、経理業務に集中できるようになった
- **開封作業の負荷が解消**
PC画面での確認により約100通の封筒の開封照合が不要になった
- **遊休回線の見える化が実現**
回線ごとに基本料/通信料などの明細がPCで確認できるため、通信料が0円の遊休回線を推測できる

事例②：富士フイルムメディカル株式会社様

膨大な支払業務を効率化し自社の経理スケジュールに合わせた支払処理も実現

FUJIFILM

Value from Innovation

本社：東京都港区西麻布2-26-30

富士フイルム西麻布ビル

設立：1965年1月12日

従業員数：1,754名

※2022年3月31日現在

<https://www.fujifilm.com/fms/ja>

富士フイルムが製造・輸入する医療用X線フィルム自動現像機の販売と技術サービスを担う企業として1965年に設立。1981年には世界で初めてX線画像のデジタル化に成功し、デジタルX線診断システムおよび医療用画像情報システムで国内トップシェアを誇っています。



導入前の課題：セキュリティ担保のための回線網により請求処理の負担が増加

- セキュリティ担保のための回線網により、回線費用や各種機器類のレンタル費用などの請求がNTT東日本とNTT西日本からバラバラに届くようになり経費処理の負担増加していた
- 経理処理は「保守サービスに関する経費は保守サービスの原資で処理する」という考え方があり、1枚の請求書の金額を、全国に47あるサービスセンターの売り上げ比率に応じて按分し、膨大な負担が発生していた

法人“ビリングONE”採用の2つのポイント

1. 経理処理作業の大きな負担軽減効果を期待できる
2. これまでは企業によって経理担当者が臨時で銀行に行く必要があったが、法人ビリングONEは支払期日変更など柔軟に対応することができる

導入後の効果：高い費用対効果と柔軟なサービスにより経理担当者の負担を削減

- 膨大な経理処理負担を軽減
- 経理スケジュールに合わせた支払期日に統一
- 締め日の繁忙緩和により、これまで取れなかった経理担当者の月末休暇が実現し、働き方改革に

今後の展望：独自の画像技術とAIやIoTを融合させ超高齢社会の医療に貢献

法人“ビリングONE”で一元管理し効率化を図ることで、本来業務に集中できる時間を増やしていきたいと考えています。そして、独自の画像技術とAI（人工知能）やIoT（Internet of Things）などを融合させ、先端技術の追求によって医療の発展に貢献していきたいです。

事例の詳細はこちら：https://admin.riclink.jp/files/1365/flyer_fujifilm_medical.pdf

事例③：大成株式会社様

回線管理を一元化。MJS経理システムとの連携で業務負荷も大幅軽減



名古屋本社：愛知県名古屋市中区栄
3-31-12(大成ビル)
東京本社：東京都千代田区紀尾井町4-1
ニューオータニ
ガーデンコート27階
設立：1959年10月2日
従業員数：5,478名※2022年3月末現在
<https://www.aisei-bm.co.jp/>

大成株式会社は1959年の設立以来、都心部の高層ビル等を中心にメンテナンスを提供。社会インフラの役割を担うメンテナンス事業に加えて、新規サービスラインナップ「Tシリーズ」を展開。現在ではロボットを用いた警備システムなども展開しています。



導入前の課題：事業拡大に向けた効率的な経営基盤の整備を検討

- ビルメンテナンス業務は多岐にわたり、日々の運転監視や点検にあたる従業員に配備している携帯電話や営業拠点の通信回線が膨大かつ請求に関しても煩雑であった
- 営業拠点や従業員の拡充に伴う回線の増減にも柔軟に対応し、人手不足の解消や、競争力強化につながるための効率的な経営基盤の整備を検討していた

法人“ビリングONE”採用の3つのポイント

1. 通信キャリア各社の請求業務を一括管理して、社内の回線状況の把握に役立つ
2. 利用している会計システムに準拠しており、データ連携が自動化され面倒な仕分け入力作業も不要に
3. 導入時の回線調査もNTTファイナンス側で実施して回線状況の把握できることから安心

導入後の効果：通信キャリア各社の請求を一括処理。担当者の引き継ぎもスムーズで満足

- 会計システムへの入力作業も不要となり経理業務の大幅な負担軽減が実現
- 各社の請求が法人“ビリングONE”で一括処理する事ができ、検索や集計機能を活用したデータ分析で社内の回線利用状況を見える化する環境を整備
- 回線利用状況を手軽に把握できる分析環境の整備が実現

今後の展望：先進IoTを駆使したビジネスを展開。NTTグループとの協業に期待

入力作業の自動化も含めた回線管理の一元環境のもと、通信環境の最適化を図るなど経営力強化に役立てたいです。当社では、ビルメンテナンス事業から総合サービス事業への変革を進めている最中であり、NTTグループには今後も先進のIoTを用いたサービスで私たちのビジネスに革新をもたらしく貢献することを願っています。

事例④：JA晴れの国岡山様

約3,000回線の請求を一本化し、経理業務の負担を大幅軽減！



本店：岡山県倉敷市玉島八島
1510番地1
設立：2020年4月1日
職員数：2,862名
(うち正職員数1,982人)
<https://www.ja-hareoka.or.jp>

岡山県の地域・農業の未来を据えて、県内8つのJAが2020年4月に合併し「JA晴れの国岡山」が発足。約9万5千人の正組合員数は、全国のJAで最大規模であり、貯金残高約1兆3千億円、購買品取扱高約214億円、販売品取扱高約251億円と全国有数のJAになります。



導入前の課題：県内8つの合併により、請求書の一括対応が困難に

- 合併する際に各JAで契約していた通信回線が計3,000回線ほどあり、毎月500通以上の請求書を受理していた
- 請求書は通信キャリアも支払日も異なるため、本店で一括対応するのは困難と考え、請求書を取りまとめて対応できるサービスを検討

法人“ビリングONE”採用の2つのポイント

1. 固定電話・携帯電話だけではなく、光回線を含めて請求や支払いを一本化できる
2. PC画面で情報を一元管理できる点が優れていると感じた

導入後の効果：4つのポイントにて導入の効果を実感

- 受理する請求書数が約500通/月から1通/月に
- 開封にかかる時間が約500分/月から約1分/月に
- Excelによる管理用データの入力時間が約3,000分/月から約60分/月に
- 振込み作業の時間が約200分/月から約10分/月に

今後の展望：回線数の適正化による経営効率向上を期待

PC画面で過去の請求を探せるだけでなく、利用頻度が低い回線を見つけやすくなるため回線数の適正化で経営効率をより高められると見込んでいます。

NTTファイナンスからは、公共料金の請求も取りまとめ可能と説明を受けており、適応範囲の拡大を今後の検討課題としていきます。

事例の詳細はこちら：https://admin.riclink.jp/files/1362/flyer_JA.pdf

事例⑤：茨城県稲敷市様

煩雑な作業の伴う通信費の経理業務を「一括請求」で効率化！



稲敷市
INASHIKI

平成17年3月に江戸崎町、新利根町、桜川村、東町が合併して誕生。茨城県の南部に位置し、地域の北側には国際的な研究学園都市「つくば」、南側には世界への玄関口「成田」を擁しており、これらの都市と首都圏中央自動車道で結ばれています。



稲敷市 土木管理部 下水道課
課長 斎藤 昇氏

導入前の課題：大きな業務負担となっていた約400回線の通信費精算

- 当課では、約340基の水量監視装置が設置されたマンホールポンプを通信回線にて管理しており、その他の用途で利用する通信回線を含めると約400回線の経費処理があり、煩雑となっていた
- 地区ごとに請求をまとめる対応を行っていたが、それでも毎月の納品書の開封や経費処理は大きな負担となっていた

法人“ビリングONE”採用の2つのポイント

1. 通信費自体をNTTファイナンスが一旦替払いするため、当市での対応が一度で完了できる
2. 今後もマンホールポンプの新規整備が予定されており、将来的な業務改善効果も見込み、導入を決定

導入後の効果：毎月かかっていた経理処理が約94%も短縮

- 毎月届いていた納品書の開封作業が一切なくなり、金融機関への支払い行為が削減
- 各通信費の勘定項目を事前に指定し、それをCSV形式でダウンロードできるため、従来行っていた仕分け・入力作業も不要に
- 毎月約14時間要していた経理処理が52分となり約94%も短縮

今後の展望：会計システムとの連携によってさらなる効率化を期待

ビリングONEは、既に市で運用している会計システムとも連携可能だと聞いているため、システム間での連携を行うことによって会計伝票の起票といった場面で、さらなる業務効率化を図れると期待しています。

事例⑥：茨城県常陸大宮市様

煩雑な公共料金の支払い管理を「一括請求」で大幅に効率化！



常陸大宮市



平成16年10月に那珂郡大宮町・山方町・美和村・緒川村・東茨城郡御前山村の5町村が合併し誕生。

市の面積は、2番目の規模を誇り、緑豊かな自然のなか、ネギ・シイタケなどの特産品の産地化や、県北工業振興の拠点である水戸北部中核工業団地など農林業と工業の調和ある発展を目指しています。



常陸大宮市
産業観光部
商工観光課 課長補佐
佐藤 真一氏



常陸大宮市
上下水道部
総務経営課 主査
加藤 義隆氏

導入前の課題：負担軽減が課題となっていた毎月約130枚の請求書処理

- 上下水道部では、市域が県内2番目の大きさを誇るため、非常に多くの施設を管理しなければならず、そこで使われる通信回線は約400契約、電力契約で約350契約にのぼっていた
- 業務を効率化するため通信会社や電力会社に依頼し、できるだけ伝票を集約する対応を取っていたが、それでも**毎月130枚程度発生する請求書の処理には約40時間もの時間を要し、大きな負担**となっていた

法人“ビリングONE”採用の2つのポイント

1. 複数の通信会社や電力会社からの支払いをまとめ、立替払いしてくれる
2. 次年度の財政計画の立案のほか、水道統計として国に提出するための電気使用量を一括管理できる

導入後の効果：毎月約40時間の業務がわずか1時間程度に短縮

- 電力使用量を把握できる分析環境の整備を実現
- Web上で毎月届く集計データを承認するだけで、一連の仕分けや起票などの処理が一切必要なくなり、業務時間が大幅に短縮し、人為的なミスへの心配もなくなった
- 画面は直感的に分かりやすく、業務の引き継ぎが生じてても、不安を感じない

今後の展望：市役所全体の働き方改革に貢献することを期待

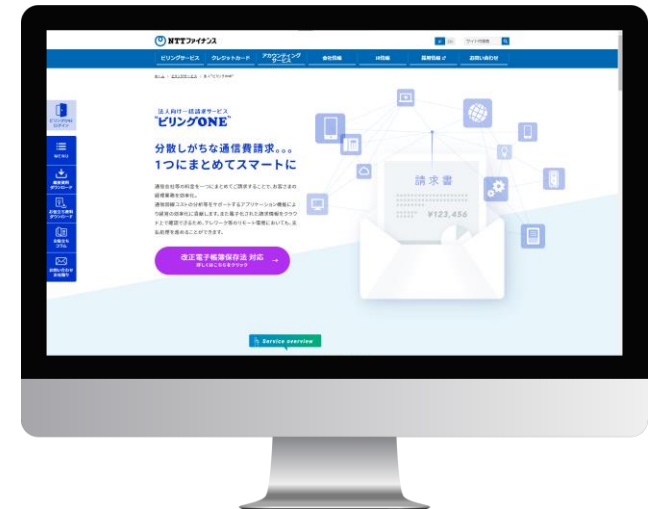
ビリングONEは、紙ベースの業務が現場に負担をかけている多くの自治体に導入することで、業務の効率化を図り、結果として業務時間を短縮することができます。将来的に市役所全体に導入することで、働き方改革に繋がることを期待しています。

サービスのご紹介

請求書の受領～管理・支払いまで完全自動化
通信費や公共料金の請求書は
「法人“ビリングONE”」でペーパーレス化を実現

法人向け一括請求サービス
“**ビリングONE**”

複数の通信会社から届く通信費や公共料金の請求を
1通にまとめてご請求。請求情報Webで一元管理が可能



お問い合わせは、こちらから



<https://www.ntt-finance.co.jp/billing/biz/service/billingone/contact>